

令和2年12月24日

年末年始の対応について

年末年始（12月29日～1月3日）において、例年は長期の休業を行う医療機関が多いことから、新型コロナウイルス感染症患者への対応を含め、地域において必要な医療提供体制の確保を図っていく。

1 入院受入体制

県内の入院受入病院（55病院〔756床〕）において、新規入院患者の受入体制は下記のとおり確保されている。

日程	12/29	12/30	12/31	1/1	1/2	1/3
対応可能病院数	48	46	44	39	42	44
対応可能病床数	694	676	676	529	653	672

※ 対応可能日が少ない病院には再検討を要請中

2 外来診療体制

（1）発熱等診療・検査医療機関等による対応状況

発熱等受診・相談センターからの紹介を受け入れる医療機関を下表のとおり確保

※ 他院及び発熱等診療・検査医療機関からの受入れ可能な医療機関：199

（神戸市分は除く：状況について確認中）

日程	阪神	東播磨	北播磨	播磨 姫路	但馬	丹波	淡路	計
12/29	48	12	7	30	5	5	6	113
12/30	29	8	8	14	6	3	5	73
12/31	25	6	7	19	6	4	4	71
1/1	23	6	7	17	6	4	4	67
1/2	22	8	7	19	7	5	4	72
1/3	23	7	5	16	6	4	4	65

※ なお、年末年始期間のみ発熱患者等に対応していただける医療機関についても、「発熱等診療・検査医療機関」に追加指定していく。

(2) 薬局による後方支援体制

年末年始の体制確保について、医療機関と連携して営業するよう県薬剤師会を通じて要請

※ 発熱等診療・検査医療機関と同様、経費支援を実施 [1日あたり @15,000円]

3 検査体制

日程	衛生研究所等 (6機関)	地域外来・検査センター (8機関)	民間検査機関
12/29	6日間、全て対応	6機関	13機関
12/30		3機関	3機関
12/31		4機関	1機関 ※その他、医療機関 と個別に相談のう え対応する機関や ゆうパック等によ り対応する機関が ある
1/1		4機関	
1/2		3機関	
1/3		2機関	